

調査・研修等計画届出書

令和 元年 10月 24日

瀬戸市議会議長 様

議員名 高島 淳



政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 元年10月30日から10月31日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会議長会 研究フォーラム in 高知	
会場名（会場所在地）	高知県高知市布師田 3992-2 高知ちばさんセンター	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	高知県高知市において本年度の全国市議会議長会が開かれる。テーマは「議会活性化のための船中八策」として研究フォーラムが開催され、全国的に研究されている議会活動の実際と今後の議会のあるべき姿、また、近年の議会改革について討論を行う。 瀬戸市議会において議会改革を推し進めるにあたり、本年度は議会基本条例の見直しや、評価が予定されており、今後の新たな取り組みについても、他市事例を参考にすることなど今回の研修を活用し議会改革推進に寄与していく。	
議長名の依頼	要・ <input type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	山田治義・富田宗一・小沢勝・西本潤・長江公夫・三木雪実 戸田由久・宮菌伸仁・柴田利勝・朝井賢次	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和2年3月26日

瀬戸市議会議長 様

議員名 高島 淳



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和元年10月30日から10月31日まで（1泊2日）
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会議長会 研究フォーラム in 高知
会場名（会場所在地）	高知県高知市布師田 3992-2 高知ちばさんセンター
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<p>高知県高知市において本年度の全国市議会議長会が開かれる。テーマは「議会活性化のための船中八策」として研究フォーラムが開催され、全国的に研究されている議会活動の実際と今後の議会のあるべき姿、また、近年の議会改革について討論を行う。</p> <p>瀬戸市議会において議会改革を推し進めるにあたり、本年度は議会基本条例の見直しや、評価が予定されており、今後の新たな取り組みについても、他市事例を参考にすることなど今回の研修を活用し議会改革推進に寄与していく。</p>

調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等

1日目の基調講演は「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」のテーマで、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授の中島岳志氏の公演でした。歴史的背景を踏まえて現状を掘り下げて考察して行き、政治のマトリクスの縦軸に配分を巡る軸を置き、横軸に価値をめぐる軸を置いて考える。縦軸の配分をめぐる軸とは、リスクの社会化とリスクの個人化で対比され、横軸の価値をめぐる軸とは、リベラルとパターナルで対比される。様々な社会情勢の変化によりその中の座標は変わる。歴史的な出来事からも、政治とは物語を設定することが重要である。また、与党、野党の考え方の違いを超えて、リベラル保守という可能性が今後の重要な選択肢の一つになっていき強い政治を作っていく。

パネルディスカッション

コーディネーター

坪井ゆずる氏（朝日新聞論説委員）

パネリスト

高部正男氏（市町村職員中央研修所所長）

横田響子氏（株式会社コラボ代表取締役／お茶の水女子大学客員准教授）

古河康造氏（高松丸亀町商店街振興組合理事長）

田鍋剛氏（高知市議会議長）

テーマ 議会活性化のための船中八策

それぞれがテーマに沿ってディスカッションをする中で、議会改革の流れの中で、例えば、議会における不祥事があると大きく報道されてしまう。ごく一部のことではあるが全国の議会に関わる人のイメージが大きく損なわれてしまっている。そう言ったことが地方議会に対する不信感、無関心に繋がり、選挙をしても投票率が上がらないことや、無投票選挙に繋がってしまう原因である。そう言ったことを踏まえて、全国の地方議会は議会改革に乗り出している。例えば全国の6割の議会が議会基本条例を制定し、議会モニター制度、住民アンケート、大学との連携などと様々な取り組みがされている。EBPM(evidence based policy making)とはデータをもとに政策を立てるということ、社会環境が変わっていく中これからはこのEBPMを活用して政策を立案、実行していくことが大切である。

議会改革が言われて久しいが、今だに住民にとって議会は、議員は何をしているのか伝わっていない場合が多い、ここは広報活動が重要になってくる。

など活発なディスカッションが行われた。

研修（受講後の感想）瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

今回の全国議長会を通して、市民の付託を受けた議員の活動が市民に対してどのようなものになっているのかが伝わらないなど全国の議員の大きなテーマとなっている。議会改革が多くの地方議会に対して取り組むべき課題となるが、それぞれの議会が取り組んでいる手法はまちまちである。しかしながら、市民の福祉の向上のために議会が活動するならば、市民に対してできるだけ議会の活動を公開していかなければならない。主に広報やホームページなどの媒体を使うのではあるが、ほかにも議会報告会を積極的に開催していくことが必要だと考える。瀬戸市議会においても市民との意見交換会などを通して市民から直接話を聞いているようにしている。また、大学の教授からも講義を受け、議員としての活動の在り方を県している。議員個々のスキルのレベルが上がれば市民に対しての責任を果たすこととなり、結果議員としての資質の向上を市民からも認められるようになる。市民の代表としての議員はどのように活動していくのかを考えさせる大変参考になる研修でした。